

ダイワ・ブラジル・ レアル債オープン (毎月分配型／年2回決算型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンドの受益証券
	ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド	ブラジル・レアル債債券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、ブラジル・レアル債債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>ロ. 固定利付債および割引債の組入比率の合計を、信託財産の純資産総額の50%程度以上とします。</p> <p>ハ. 投資する債券は、政府、政府関係機関、国際機関等が発行するものとします。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、イタウ・ユニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	毎月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

運用報告書（全体版）

毎月分配型	第84期（決算日 2015年11月25日）
	第85期（決算日 2015年12月25日）
	第86期（決算日 2016年1月25日）
	第87期（決算日 2016年2月25日）
	第88期（決算日 2016年3月25日）
年2回決算型	第15期（決算日 2016年4月25日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ブラジル・レアル債オープン（毎月分配型／年2回決算型）」は、さる4月25日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<4788>

<4789>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算)		公社債組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率		
60期末(2013年11月25日)	円 8,163	円 90	% 0.3	19,616	% △ 0.1	% 98.8	百万円 115,803
61期末(2013年12月25日)	8,059	90	△ 0.2	19,581	△ 0.2	98.8	112,567
62期末(2014年1月27日)	7,705	90	△ 3.3	18,977	△ 3.1	98.9	106,743
63期末(2014年2月25日)	7,927	90	4.0	19,868	4.7	99.3	108,904
64期末(2014年3月25日)	7,865	90	0.4	19,968	0.5	99.1	106,772
65期末(2014年4月25日)	8,330	90	7.1	21,437	7.4	98.5	110,343
66期末(2014年5月26日)	8,318	90	0.9	21,629	0.9	98.4	108,833
67期末(2014年6月25日)	8,336	90	1.3	21,974	1.6	98.6	107,460
68期末(2014年7月25日)	8,382	90	1.6	22,312	1.5	99.1	106,977
69期末(2014年8月25日)	8,352	90	0.7	22,405	0.4	99.3	105,983
70期末(2014年9月25日)	8,339	90	0.9	22,518	0.5	99.3	104,493
71期末(2014年10月27日)	7,854	90	△ 4.7	21,494	△ 4.5	98.7	97,911
72期末(2014年11月25日)	8,334	90	7.3	23,034	7.2	98.8	103,281
73期末(2014年12月25日)	7,895	90	△ 4.2	22,076	△ 4.2	98.3	96,969
74期末(2015年1月26日)	8,128	90	4.1	23,208	5.1	98.4	99,168
75期末(2015年2月25日)	7,392	90	△ 7.9	21,139	△ 8.9	99.1	89,818
76期末(2015年3月25日)	6,652	90	△ 8.8	19,192	△ 9.2	98.8	79,791
77期末(2015年4月27日)	7,066	60	7.1	20,609	7.4	98.1	84,413
78期末(2015年5月25日)	6,948	60	△ 0.8	20,498	△ 0.5	98.7	81,589
79期末(2015年6月25日)	7,049	60	2.3	20,818	1.6	98.6	81,418
80期末(2015年7月27日)	6,456	60	△ 7.6	19,253	△ 7.5	98.6	73,287
81期末(2015年8月25日)	5,822	60	△ 8.9	17,298	△ 10.2	97.1	65,358
82期末(2015年9月25日)	5,174	60	△ 10.1	15,181	△ 12.2	98.6	57,175
83期末(2015年10月26日)	5,344	60	4.4	15,773	3.9	98.8	58,301
84期末(2015年11月25日)	5,711	60	8.0	17,164	8.8	98.8	61,811
85期末(2015年12月25日)	5,216	40	△ 8.0	15,592	△ 9.2	98.1	55,334
86期末(2016年1月25日)	5,006	40	△ 3.3	15,071	△ 3.3	98.2	51,688
87期末(2016年2月25日)	4,963	40	△ 0.1	15,374	2.0	98.8	50,271
88期末(2016年3月25日)	5,496	40	11.5	17,432	13.4	98.5	54,803
89期末(2016年4月25日)	5,617	40	2.9	18,412	5.6	98.4	55,246

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算) は、JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

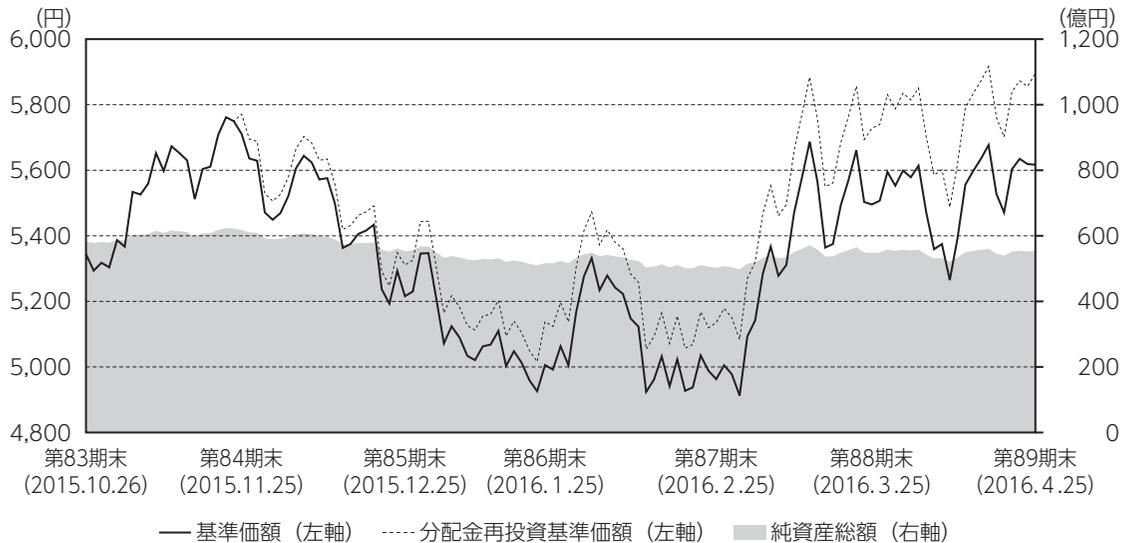
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第84期首：5,344円

第89期末：5,617円（既払分配金260円）

騰落率：10.3%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。一方、為替相場は基準価額に大きく影響しませんでした。また、債券の利息収入は安定的に基準価額の上昇要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ブラジル・リアル債オープン（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第84期	(期首) 2015年10月26日	円	%			%
	10月末	5,344	-	15,773	-	98.8
	(期末) 2015年11月25日	5,387	0.8	15,907	0.8	98.6
第85期	(期首) 2015年11月25日	5,771	8.0	17,164	8.8	98.8
	11月末	5,711	-	17,164	-	98.8
	(期末) 2015年12月25日	5,471	△ 4.2	16,346	△ 4.8	98.3
第86期	(期首) 2015年12月25日	5,256	△ 8.0	15,592	△ 9.2	98.1
	12月末	5,216	-	15,592	-	98.1
	(期末) 2016年 1 月25日	5,347	2.5	15,972	2.4	97.5
第87期	(期首) 2016年 1 月25日	5,046	△ 3.3	15,071	△ 3.3	98.2
	1 月末	5,006	-	15,071	-	98.2
	(期末) 2016年 2 月25日	5,167	3.2	15,698	4.2	98.3
第88期	(期首) 2016年 2 月25日	5,003	△ 0.1	15,374	2.0	98.8
	2 月末	4,963	-	15,374	-	98.8
	(期末) 2016年 3 月25日	4,978	0.3	15,328	△ 0.3	98.8
第89期	(期首) 2016年 3 月25日	5,536	11.5	17,432	13.4	98.5
	3 月末	5,496	-	17,432	-	98.5
	(期末) 2016年 4 月25日	5,599	1.9	17,909	2.7	98.7
		5,657	2.9	18,412	5.6	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について**○ブラジル債券市況**

当作成期間の前半は、市場からの信認が厚かったレビ財務大臣が政権を去ったことや与党の大物政治家の逮捕により政界が混乱したことなどから、議会での財政再建に向けた審議の遅れや政府の財政再建への取り組みが後退することへの懸念により、金利は上昇しました。当作成期間の後半は、ブラジル中央銀行の金融政策への姿勢が、従来のインフレ沈静化から転換する発言が見られたことで、景気支援の利下げへ転換すると市場の思惑から、大幅に金利は低下しました。また、指導力が低下したルセフ大統領に対する弾劾への期待が高まるに連れ、政権交代による社会刷新期待から、金利の低下が進みました。

○為替相場

ブラジル・リアルの為替相場は横ばいとなりました。2015年12月以降は、与党の政治家逮捕により財政再建の進捗の遅れが警戒されたことや、財務大臣の交代により今後の財政運営に不透明感が生じたことに加え、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利の引き上げを決定したことによる新興国全般に対する資金流入の低下が懸念され、リアルは下落しました。2016年以降は、中国経済の不透明感と世界的な株式市況の急落、また原油価格の下落によりリスク回避姿勢が強まったため、新興国・資源国通貨に下落圧力が掛かりました。しかし3月になると、原油価格が底打ちし、株式市況が上昇するなどリスク回避姿勢が和らいだことや、汚職捜査が政権中枢へ近づくに連れて政権交代への期待が高まったこと、ルセフ大統領の弾劾手続きが進展したことがリアルの上昇要因となりました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**○当ファンド**

「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

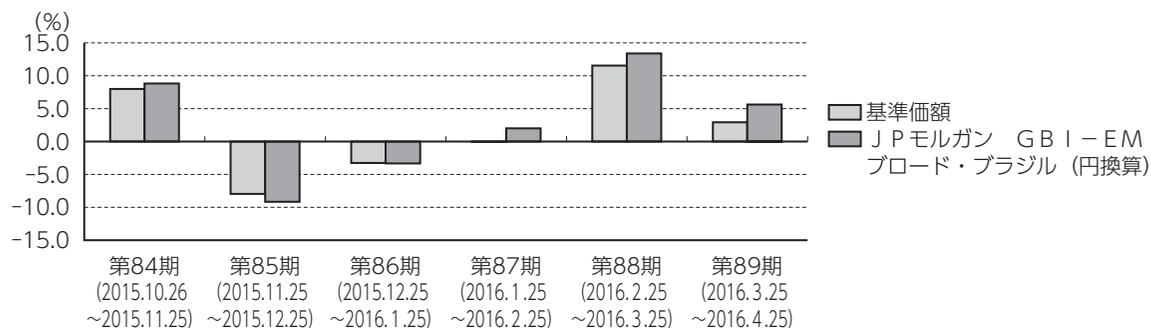
○ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

債券ポートフォリオは、名目債と物価連動債の双方からなるブラジル国債ポートフォリオで運用しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第84期は60円、第85期～第89期はそれぞれ40円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2015年10月27日 ～2015年11月25日	2015年11月26日 ～2015年12月25日	2015年12月26日 ～2016年1月25日	2016年1月26日 ～2016年2月25日	2016年2月26日 ～2016年3月25日	2016年3月26日 ～2016年4月25日
当期分配金（税込み）（円）	60	40	40	40	40	40
対基準価額比率（％）	1.04	0.76	0.79	0.80	0.72	0.71
当期の収益（円）	49	40	40	38	40	40
当期の収益以外（円）	10	—	—	1	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	127	128	129	127	132	140

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	49.99円	40.82円	40.89円	38.27円	45.14円	47.44円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	65.49	66.30	66.46	66.60	66.73	66.87
(d) 分配準備積立金	71.67	61.14	61.83	62.62	60.79	65.81
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	187.16	168.27	169.20	167.50	172.66	180.12
(f) 分配金	60.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	127.16	128.27	129.20	127.50	132.66	140.12

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期		項 目 の 概 要
	(2015.10.27～2016.4.25)		
	金 額	比 率	
信託報酬	38円	0.713%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,347円です。
（投信会社）	(14)	(0.266)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(23)	(0.426)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	5	0.089	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(5)	(0.088)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	43	0.803	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年10月27日から2016年4月25日まで)

決算期	第 84 期 ~ 第 89 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ブラジル・レアル債 マザーファンド	8,732	13,970	5,504,415	8,953,520

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第84期～第89期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第83期末		第 89 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド	36,739,478	31,243,795	55,573,339	

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年11月25日)、(2015年12月25日)、(2016年1月25日)、(2016年2月25日)、(2016年3月25日)、(2016年4月25日)現在

項 目	第 84 期 末	第 85 期 末	第 86 期 末	第 87 期 末	第 88 期 末	第 89 期 末
(A) 資産	62,556,301,376円	56,128,099,495円	52,409,546,163円	50,833,353,467円	55,365,599,297円	55,752,739,562円
コール・ローン等	334,689,192	369,780,095	243,324,917	98,645,104	55,273,703	136,620,325
ダイワ・ブラジル・レアル債 マザーファンド(評価額)	62,203,672,184	55,166,609,400	51,920,371,246	50,164,138,363	54,742,875,594	55,573,339,237
未収入金	17,940,000	591,710,000	245,850,000	570,570,000	567,450,000	42,780,000
(B) 負債	745,162,827	793,757,968	721,395,607	562,336,903	562,316,244	506,326,609
未払収益分配金	649,395,918	424,319,634	413,005,024	405,143,744	398,868,858	393,440,266
未払解約金	23,936,547	299,150,736	241,886,325	92,687,951	100,955,939	44,434,511
未払信託報酬	71,641,883	69,920,824	65,961,930	63,779,104	61,574,152	67,343,404
その他未払費用	188,479	366,774	542,328	726,104	917,295	1,108,428
(C) 純資産総額(A-B)	61,811,138,549	55,334,341,527	51,688,150,556	50,271,016,564	54,803,283,053	55,246,412,953
元本	108,232,653,145	106,079,908,608	103,251,256,057	101,285,936,231	99,717,214,740	98,360,066,641
次期繰越損益金	△ 46,421,514,596	△ 50,745,567,081	△ 51,563,105,501	△ 51,014,919,667	△ 44,913,931,687	△ 43,113,653,688
(D) 受益権総口数	108,232,653,145口	106,079,908,608口	103,251,256,057口	101,285,936,231口	99,717,214,740口	98,360,066,641口
1万円当り基準価額(C/D)	5,711円	5,216円	5,006円	4,963円	5,496円	5,617円

*第83期末における元本額は109,101,278,060円、当作成期間（第84期～第89期）中における追加設定元本額は1,994,715,919円、同解約元本額は12,735,927,338円です。

*第89期末の計算口数当りの純資産額は5,617円です。

*第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は43,113,653,688円です。

■投資信託財産の構成

2016年4月25日現在

項 目	第 89 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド	55,573,339	99.7
コール・ローン等、その他	179,400	0.3
投資信託財産総額	55,752,739	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月25日における邦貨換算レートは、1ブラジル・レアル=31.24円です。

(注3) ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンドにおいて、第89期末における外貨建純資産（57,593,500千円）の投資信託財産総額（73,145,860千円）に対する比率は、78.7%です。

ダイワ・ブラジル・リアル債オープン（毎月分配型）

■損益の状況

第84期 自2015年10月27日 至2015年11月25日 第87期 自2016年1月26日 至2016年2月25日
 第85期 自2015年11月26日 至2015年12月25日 第88期 自2016年2月26日 至2016年3月25日
 第86期 自2015年12月26日 至2016年1月25日 第89期 自2016年3月26日 至2016年4月25日

項 目	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
(A) 配当等収益	20,105円	21,537円	14,360円	7,102円	135円	△ 1,689円
受取利息	20,105	21,537	14,360	7,102	135	5
支払利息	-	-	-	-	-	△ 1,694
(B) 有価証券売買損益	4,692,844,434	△ 4,729,926,225	△ 1,690,744,451	35,612,139	5,770,313,784	1,649,715,352
売買益	4,718,219,510	80,287,474	48,477,420	71,290,643	5,838,247,315	1,663,811,232
売買損	△ 25,375,076	△ 4,810,213,699	△ 1,739,221,871	△ 35,678,504	△ 67,933,531	△ 14,095,880
(C) 信託報酬等	△ 71,830,362	△ 70,099,119	△ 66,137,484	△ 63,962,880	△ 61,765,343	△ 67,534,537
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	4,621,034,177	△ 4,800,003,807	△ 1,756,867,575	△ 28,343,639	5,708,548,576	1,582,179,126
(E) 前期繰越損益金	△38,938,622,122	△33,977,654,220	△38,079,769,206	△39,411,445,423	△39,159,510,344	△33,328,666,316
(F) 追加信託差損益金	△11,454,530,733	△11,543,589,420	△11,313,463,696	△11,169,986,861	△11,064,101,061	△10,973,726,232
(配当等相当額)	(708,883,583)	(703,393,749)	(686,308,295)	(674,629,469)	(665,420,988)	(657,740,098)
(売買損益相当額)	(△12,163,414,316)	(△12,246,983,169)	(△11,999,771,991)	(△11,844,616,330)	(△11,729,522,049)	(△11,631,466,330)
(G) 合計(D+E+F)	△45,772,118,678	△50,321,247,447	△51,150,100,477	△50,609,775,923	△44,515,062,829	△42,720,213,422
(H) 収益分配金	△ 649,395,918	△ 424,319,634	△ 413,005,024	△ 405,143,744	△ 398,868,858	△ 393,440,266
次期繰越損益金(G+H)	△46,421,514,596	△50,745,567,081	△51,563,105,501	△51,014,919,667	△44,913,931,687	△43,113,653,688
追加信託差損益金	△11,454,530,733	△11,543,589,420	△11,313,463,696	△11,169,986,861	△11,064,101,061	△10,973,726,232
(配当等相当額)	(708,883,583)	(703,393,749)	(686,308,295)	(674,629,469)	(665,420,988)	(657,740,098)
(売買損益相当額)	(△12,163,414,316)	(△12,246,983,169)	(△11,999,771,991)	(△11,844,616,330)	(△11,729,522,049)	(△11,631,466,330)
分配準備積立金	667,472,132	657,293,692	647,752,238	616,807,266	657,476,654	720,546,900
繰越損益金	△35,634,455,995	△39,859,271,353	△40,897,394,043	△40,461,740,072	△34,507,307,280	△32,860,474,356

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
(a) 経費控除後の配当等収益	541,092,965円	433,026,149円	422,279,471円	387,688,176円	450,148,719円	466,633,258円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	708,883,583	703,393,749	686,308,295	674,629,469	665,420,988	657,740,098
(d) 分配準備積立金	775,775,085	648,587,177	638,477,791	634,262,834	606,196,793	647,353,908
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	2,025,751,633	1,785,007,075	1,747,065,557	1,696,580,479	1,721,766,500	1,771,727,264
(f) 分配金	649,395,918	424,319,634	413,005,024	405,143,744	398,868,858	393,440,266
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	1,376,355,715	1,360,687,441	1,334,060,533	1,291,436,735	1,322,897,642	1,378,286,998
(h) 受益権総口数	108,232,653,145□	106,079,908,608□	103,251,256,057□	101,285,936,231□	99,717,214,740□	98,360,066,641□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
1 万口当り分配金	60円	40円	40円	40円	40円	40円
(単 価)	(5,711円)	(5,216円)	(5,006円)	(4,963円)	(5,496円)	(5,617円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★ダイワ・ブラジル・リアル債オープン（年2回決算型）

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算)		公 社 債 率 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率		
	円	円	%		%	%	百万円
11期末(2014年4月25日)	18,446	10	8.4	21,437	9.1	98.3	2,904
12期末(2014年10月27日)	18,531	10	0.5	21,494	0.3	97.9	3,996
13期末(2015年4月27日)	17,839	10	△ 3.7	20,609	△ 4.1	98.3	2,534
14期末(2015年10月26日)	14,296	10	△ 19.8	15,773	△ 23.5	97.5	2,138
15期末(2016年4月25日)	15,777	10	10.4	18,412	16.7	98.1	2,207

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算) は、J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

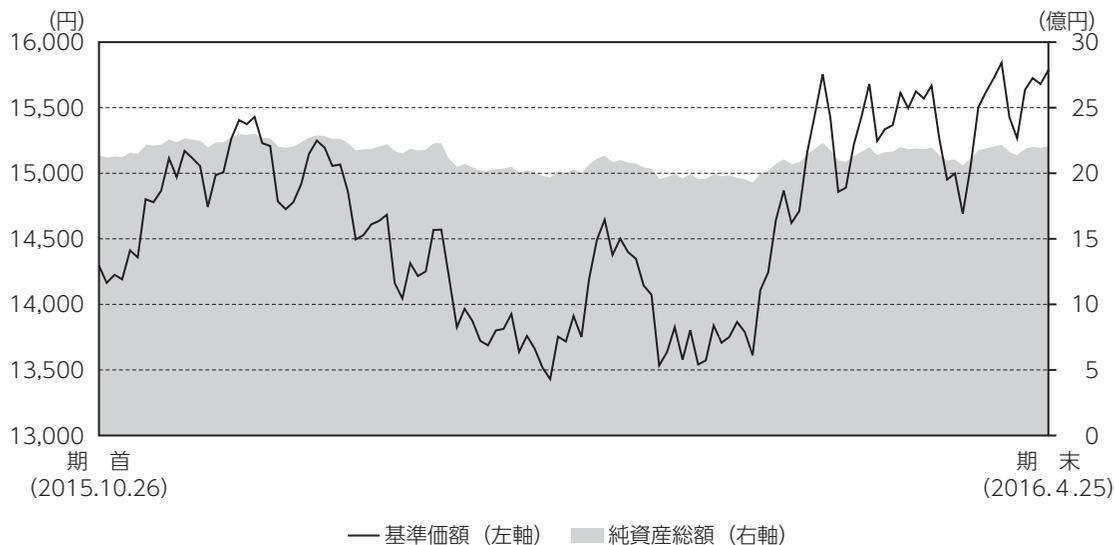
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：14,296円

期末：15,777円 (分配金10円)

騰落率：10.4% (分配金込み)

■ 基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。一方、為替相場は基準価額に大きく影響しませんでした。また、債券の利息収入は安定的に基準価額の上昇要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ブラジル・リアル債オープン（年2回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		J P モルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算)	公 社 債 率	
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	組 入 比
(期首) 2015年10月26日	円 14,296	% -	15,773	% -	% 97.5
10月末	14,412	0.8	15,907	0.8	97.9
11月末	14,785	3.4	16,346	3.6	97.9
12月末	14,570	1.9	15,972	1.3	96.9
2016年 1 月末	14,196	△ 0.7	15,698	△ 0.5	97.8
2 月末	13,790	△ 3.5	15,328	△ 2.8	98.2
3 月末	15,625	9.3	17,909	13.5	99.0
(期末) 2016年 4 月25日	15,787	10.4	18,412	16.7	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○ブラジル債券市況

当期の前半は、市場からの信認が厚かったレビ財務大臣が政権を去ったことや与党の大物政治家の逮捕により政界が混乱したことなどから、議会での財政再建に向けた審議の遅れや政府の財政再建への取り組みが後退することへの懸念により、金利は上昇しました。当期の後半は、ブラジル中央銀行の金融政策への姿勢が、従来のインフレ沈静化から転換する発言が見られたことで、景気支援の利下げへ転換するとの市場の思惑から、大幅に金利は低下しました。また、指導力が低下したルセフ大統領に対する弾劾への期待が高まるに連れ、政権交代による社会刷新期待から、金利の低下が進みました。

○為替相場

ブラジル・リアルの為替相場は横ばいとなりました。2015年12月以降は、与党の政治家逮捕により財政再建の進捗の遅れが警戒されたことや、財務大臣の交代により今後の財政運営に不透明感が生じたことに加え、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利の引き上げを決定したことによる新興国全般に対する資金流入の低下が懸念され、リアルは下落しました。2016年以降は、中国経済の不透明感と世界的な株式市況の急落、また原油価格の下落によりリスク回避姿勢が強まったため、新興国・資源国通貨に下落圧力が掛かりました。しかし3月になると、原油価格が底打ちし、株式市況が上昇するなどリスク回避姿勢が和らいだことや、汚職捜査が政権中枢へ近づくに連れて政権交代への期待が高まったこと、ルセフ大統領の弾劾手続きが進展したことがリアルの上昇要因となりました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

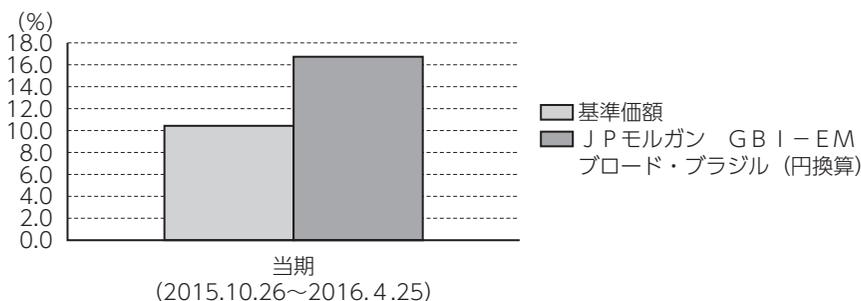
○ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

債券ポートフォリオは、名目債と物価連動債の双方からなるブラジル国債ポートフォリオで運用しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は、10円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年10月27日 ～2016年4月25日	
当期分配金（税込み）	（円）	10
対基準価額比率	（％）	0.06
当期の収益	（円）	10
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	13,108

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	727.37円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	7,883.67
(d) 分配準備積立金	4,507.40
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	13,118.45
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	13,108.45

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2015.10.27~2016.4.25)		
	金 額	比 率	
信託報酬	105円	0.716%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は14,640円です。
（投信会社）	(39)	(0.267)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(63)	(0.427)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(3)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	13	0.092	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(13)	(0.088)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	118	0.807	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年10月27日から2016年4月25日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ブラジル・レアル債 マザーファンド	71,568	117,070	158,206	255,920

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド	1,330,848	1,244,210	2,213,076	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年4月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド	2,213,076	99.5%
コール・ローン等、その他	11,731	0.5%
投資信託財産総額	2,224,808	100.0%

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月25日における邦貨換算レートは、1ブラジル・レアル=31.24円です。

(注3) ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(57,593,500千円)の投資信託財産総額(73,145,860千円)に対する比率は、78.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年4月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,224,808,889円
コール・ローン等	11,211,897
ダイワ・ブラジル・レアル債 マザーファンド(評価額)	2,213,076,992
未収入金	520,000
(B) 負債	17,517,808
未払収益分配金	1,399,074
未払解約金	675,104
未払信託報酬	15,357,730
その他未払費用	85,900
(C) 純資産総額(A - B)	2,207,291,081
元本	1,399,074,865
次期繰越損益金	808,216,216
(D) 受益権総口数	1,399,074,865口
1万口当り基準価額(C/D)	15,777円

*期首における元本額は1,495,692,833円、当期中における追加設定元本額は85,320,720円、同解約元本額は181,938,688円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は15,777円です。

■損益の状況

当 期 自2015年10月27日 至2016年4月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	5,745円
受取利息	5,880
支払利息	△ 135
(B) 有価証券売買損益	220,426,454
売買益	228,805,380
売買損	△ 8,378,926
(C) 信託報酬等	△ 15,443,630
(D) 当期損益金(A + B + C)	204,988,569
(E) 前期繰越損益金	△ 262,259,739
(F) 追加信託差損益金	866,886,460
(配当等相当額)	(1,102,984,889)
(売買損益相当額)	(△ 236,098,429)
(G) 合計(D + E + F)	809,615,290
(H) 収益分配金	△ 1,399,074
次期繰越損益金(G + H)	808,216,216
追加信託差損益金	866,886,460
(配当等相当額)	(1,102,984,889)
(売買損益相当額)	(△ 236,098,429)
分次準備積立金	730,985,537
繰越損益金	△ 789,655,781

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は19ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	101,765,052円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,102,984,889
(d) 分配準備積立金	630,619,559
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,835,369,500
(f) 分配金	1,399,074
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,833,970,426
(h) 受益権総口数	1,399,074,865口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金

10円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、4月25日現在の基準価額（1万口当り15,777円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

運用報告書 第15期 (決算日 2016年4月25日)

(計算期間 2015年10月27日～2016年4月25日)

ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンドの第15期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ブラジル・リアル建債券
運用方法	<p>①主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>ロ. 固定利付債および割引債の組入比率の合計を、信託財産の純資産総額の50%程度以上とします。</p> <p>ハ. 投資する債券は、政府、政府関係機関、国際機関等が発行するものとします。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、イタウ・ウニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

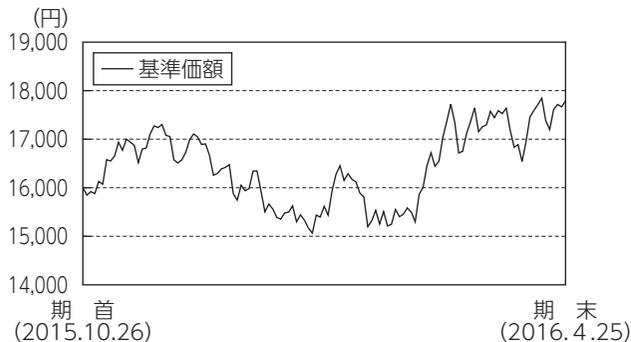
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算)	G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算)	公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期首)2015年10月26日	円	%		%	%
	15,998	-	15,773	-	98.0
10月末	16,132	0.8	15,907	0.8	99.2
11月末	16,576	3.6	16,346	3.6	99.0
12月末	16,345	2.2	15,972	1.3	97.9
2016年1月末	15,940	△ 0.4	15,698	△ 0.5	98.8
2月末	15,500	△ 3.1	15,328	△ 2.8	99.1
3月末	17,588	9.9	17,909	13.5	98.9
(期末)2016年4月25日	17,787	11.2	18,412	16.7	97.8

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算) は、J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J P Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J P Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J P Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：15,998円 期末：17,787円 騰落率：11.2%

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。一方、為替相場は基準価額に大きく影響しませんでした。また、債券の利息収入は安定的に基準価額の上昇要因となりました。

◆投資環境について

○ブラジル債券市況

当期の前半は、市場からの信認が厚かったレビ財務大臣が政権を去ったことや与党の大物政治家の逮捕により政界が混乱したことなどから、議会での財政再建に向けた審議の遅れや政府の財政再建への取り組みが後退することへの懸念により、金利は上昇しました。

当期の後半は、ブラジル中央銀行の金融政策への姿勢が、従来のインフレ沈静化から転換する発言が見られたことで、景気支援の利下げへ転換すると市場の思惑から、大幅に金利は低下しました。また、指導力が低下したルセフ大統領に対する弾劾への期待が高まるに連れ、政権交代による社会刷新期待から、金利の低下が進みました。

○為替相場

ブラジル・リアルへの対円為替相場は横ばいとなりました。2015年12月以降は、与党の政治家逮捕により財政再建の進捗の遅れが警戒されたことや、財務大臣の交代により今後の財政運営に不透明感が生じたことに加え、F R B (米国連邦準備制度理事会) が政策金利の引き上げを決定したことによる新興国全般に対する資金流入の低下が懸念され、リアルは下落しました。2016年以降は、中国経済の不透明感と世界的な株式市況の急落、また原油価格の下落によりリスク回避姿勢が強まったため、新興国・資源国通貨に下落圧力が掛かりました。しかし3月になると、原油価格が底打ちし、株式市況が上昇するなどリスク回避姿勢が和らいだことや、汚職捜査が政権中枢へ近づくと連れて政権交代への期待が高まったこと、ルセフ大統領の弾劾手続きが進展したことがリアルの上昇要因になりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債 (一般に割引債と利付債をいいます。) ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

債券ポートフォリオは、名目債と物価連動債の双方からなるブラジル国債ポートフォリオで運用しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (保管費用)	14 (14)
合 計	14

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
公社債

(2015年10月27日から2016年4月25日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジル・レアル 728,506	千ブラジル・レアル 1,004,341 (-)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年10月27日から2016年4月25日まで)

当			期		
買	付	額	売	付	額
銘	柄	金	銘	柄	金
		千円			千円
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2019/1/1	9,060,986	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2016/7/1	7,663,732
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル)	10% 2021/1/1	6,251,622	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2017/7/1	6,486,071
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2022/8/15	4,807,579	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2017/1/1	5,725,557
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2017/7/1	1,612,350	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2016/8/15	4,187,074
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2018/1/1	966,251	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2016/1/1	2,636,804
			Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2018/7/1	1,167,646
			Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル)	10% 2025/1/1	1,032,729
			Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2055/5/15	667,234
			Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2050/8/15	640,557
			Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2019/1/1	541,373

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期 区分	当 額面金額	期 評価額		組入比率	うちB/B格 以下組入比率	未 残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジル・リアル 1,582,750	千ブラジル・リアル 1,809,463	千円 56,527,636	97.8%	97.8%	16.5%	44.2%	37.1%

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区分	銘柄	種類	年利率	額面金額	期 評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000%	千ブラジル・リアル 220,000	千ブラジル・リアル 200,329	千円 6,258,302	2021/01/01
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000%	168,000	475,784	14,863,504	2016/08/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000%	15,000	41,421	1,294,006	2040/08/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000%	16,000	43,678	1,364,513	2045/05/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000%	18,000	49,765	1,554,685	2035/05/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000%	5,000	14,196	443,492	2018/08/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000%	60,500	170,698	5,332,634	2022/08/15
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	257,000	209,917	6,557,825	2018/01/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	150,000	115,524	3,608,969	2018/07/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	673,250	488,146	15,249,701	2019/01/01
合計	銘柄数 金額	10銘柄		1,582,750	1,809,463	56,527,636	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年4月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 56,527,636	77.3%
コール・ローン等、その他	16,618,224	22.7%
投資信託財産総額	73,145,860	100.0%

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月25日における邦貨換算レートは、1ブラジル・リアル=31.24円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（57,593,500千円）の投資信託財産総額（73,145,860千円）に対する比率は、78.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年4月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	73,663,628,643円
コール・ローン等	239,751,989
公社債(評価額)	56,527,636,304
未収入金	16,554,534,434
未収利息	339,974,831
前払費用	1,731,085
(B) 負債	15,878,210,334
未払金	15,834,909,516
未払解約金	43,300,000
その他未払費用	818
(C) 純資産総額(A - B)	57,785,418,309
元本	32,488,005,976
次期繰越損益金	25,297,412,333
(D) 受益権総口数	32,488,005,976口
1万口当り基準価額(C / D)	17,787円

*期首における元本額は38,070,327,963円、当期中における追加設定元本額は80,300,631円、同解約元本額は5,662,622,618円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ブラジル・リアル債オープン(毎月分配型)31,243,795,602円、ダイワ・ブラジル・リアル債オープン(年2回決算型)1,244,210,374円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は17,787円です。

■損益の状況

当期 自2015年10月27日 至2016年4月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	3,135,571,164円
受取利息	3,135,575,213
支払利息	△ 4,049
(B) 有価証券売買損益	2,873,297,270
売買益	3,227,520,726
売買損	△ 354,223,456
(C) その他費用	△ 50,937,161
(D) 当期損益金(A + B + C)	5,957,931,273
(E) 前期繰越損益金	22,835,559,073
(F) 解約差損益金	△ 3,546,817,382
(G) 追加信託差損益金	50,739,369
(H) 合計(D + E + F + G)	25,297,412,333
次期繰越損益金(H)	25,297,412,333

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。